

「情報公開文書」

受付番号： 2023-4-117

課題名：日本人集団を対象とした認知機能に関する遺伝的背景の検討

研究責任者：東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門
教授 栗山 進一

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画が実施している脳と心の健康調査に参加している、成人を対象とします。

2. 研究目的・方法

【研究期間及び試料・情報の利用又は提供を開始する日】

研究期間： 2023年12月（研究実施許可日） ～ 2026年4月

試料・情報の利用又は提供を開始する日： 研究実施許可日

【研究目的】

認知機能に関連する遺伝子変異を探索し、認知症の診断・治療への貢献を目指します。また、認知症及びその要因となる疾患や体質に関連する数十から数百万の遺伝子変異を組み合わせたスコアを作成します。各スコアと認知機能の関係を調べることで、疾患発症の遺伝的リスクと認知機能の関係を検討します。そして、認知機能低下のメカニズムや様々な疾患の遺伝的な影響について明らかにすることを目的とします。

【研究方法】

本研究では脳と心の健康調査に参加していただいた、約12,000人の成人を対象とします。認知機能に関連する遺伝的要因を解明し、認知症やそれに関連する疾患などの遺伝的リスクと認知機能との関連を調べることで、認知機能低下のメカニズムや認知症の予防や診療に貢献します。解析の第1段階として、認知機能検査データや脳画像データに対して、ゲノムワイド関連解析（Genome-Wide Association Study; GWAS）を行うことで、認知機能や脳構造に関連する遺伝的要因を明らかにします。第2段階として、認知症やそれに関連する疾患（肥満や糖尿病、高血圧など）又は体質（脳体積など）について、既に他の研究で実施されたGWASの統計量を用いてPRSを作成し、認知機能や脳構造との関連を評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

脳と心の健康調査で収集させていただいた調査票の情報、認知機能検査の情報、脳MRI検査の情報、脳と心の健康調査参加者の三世代コホート調査又は地域住民コホート調査で収集させていただいた調査票の情報、生理学・生化学（血液・尿）検査の情報、ゲノム情報（SNP アレイ情報およびシーケンス情報）を解析に用います。これらのデータは東北メディカル・メガバンク機構スーパーコンピュータ内で管理します。本研究で新たに得られたデータは研究終了後に破棄します。

また、本研究では生体試料を使用しません。

4. 研究により得られた結果等の取扱い

本研究で用いる情報にはゲノム情報が含まれておりますが、遺伝子情報の開示や遺伝カウンセリングの体制が整っていないため、本研究によって得られた解析結果の個人への回付は致しません。しかし、個人が特定できない形で研究成果を学会や論文等で報告する予定です。

5. 外部への試料・情報の提供

該当なし

6. 関係研究組織

該当なし

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 お問い合わせ窓口

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL: 022-717-8102

東北大学の東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート担当

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL: 022-717-8102 FAX: 022-717-8106

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第21条の4>

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第33条の2>

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合